

1. 評価報告概要表

作成日 平成21年 1月22日

【評価実施概要】

事業所番号	1070201106
法人名	社会福祉法人白水会
事業所名	グループホームマイライフ
所在地	高崎市寺尾町1453-1 (電話) 027-320-7000

評価機関名	特定非営利活動法人 群馬社会福祉評価機構
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12
訪問調査日	平成20年12月25日

【情報提供票より】(平成20年 12月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	9 人	常勤 6人, 非常勤 3人	常勤換算 5.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	3階建ての	2階 ~	3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(月額)	33,000 円(30日)	その他の経費(月額)	居室で使用する電気用品 500~1,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無		有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	50 円

(4) 利用者の概要(12月 1日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	4名	要介護2	8名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 86歳	最低	73歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	サンピエール病院 ・ 森田外科胃腸科クリニック ・ 大田歯科医院
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは観音山丘陵の中腹にあり、春は周囲の山々が新緑に香り、秋は紅葉に彩られ、居間兼食堂からは、夜景に輝く高崎市街地を眼下に望み、遠く県庁や赤城・榛名・浅間の山々や雪化粧した谷川岳を遠望できる景勝地にある。日々の支援では、年長者である入居者は、人生の大先輩であるという考えを職員が共有しており、「共に暮らし、学び、支え合う」関係を大切にしている。また、「楽しむことの出来る食事」を事業所運営の柱に位置づけ、食事会や誕生会等の豪華特別食や屋外での芋煮会等、目先を変えたメニューの工夫と季節を味わう「食」の取り組みを実践している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価の改善課題は、地域密着型サービスとしての理念の見直し、重度化や終末期に向けた方針の共有及び日常的な外出支援であり、職員会議に諮り改善に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は、管理者が記入し職員に回覧した後、職員会議に諮り作成している。菓の飲み忘れや誤飲防止について話し合い、日々の支援に活かしている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議を奇数月に開催し、家族代表は輪番制で、地元委員や市の担当者は毎回出席している。会議では現況報告や市の実地指導内容等を報告し意見交換を行っている。今後の会議では、自己評価及び外部評価の改善課題の取り組み状況等を報告し意見交換を行い、サービスの質の向上に取り組まれるよう期待する。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>意見箱を各階に設置し、面会時に入居者の日常生活状況を報告しながら、さりげなく家族に意見や要望等を聞くなどの雰囲気づくりを行っている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームは観音山丘陵の中腹にあり、近隣に民家が少なくかつ距離も離れているが、隣接の養護施設を訪問した幼稚園の鼓笛隊の見物をしたり、ホーム主催の花見会に近隣の人達を招待したり、どんど焼きに参加するなど地域の人々との交流に努めている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の基本的人権が保護され、地域において生きがいを持ち、安心して家庭的な生活ができる理念を掲げ支援している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念を共有し、トイレ誘導などの日常生活での言葉遣いに配慮し、ホームの花見会に近隣の人を招待したり、どんど焼きに参加するなど理念に沿った支援を行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームは観音山丘陵の中腹にあり、近隣に民家が少なくかつ距離も離れているが、隣接した養護施設を訪問する幼稚園児の鼓笛隊の見物をしたり、ホームの花見会に近隣の方を招待したり、どんど焼きに参加するなど地域の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は管理者が記入し、職員に回覧した後職員会議に諮り決定している。薬の飲み忘れや誤飲防止について話し合っている。また、外部評価は職員会議に諮り改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を奇数月に開催し、家族代表は輪番制で地元委員や市の担当者は常に出席している。会議では現況報告や市の実地指導の報告等の後、意見交換を行っている。自己評価や外部評価の報告や意見交換等は、記録されていない。	○	自己評価及び外部評価の内容や改善状況等を報告し意見交換を行い、サービスの質の向上に取り組まれるよう期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者には、ホームから入居者のこれまでの経緯等を説明し情報を提供することもある。市が主催する研修会や「もてなし広場」でのイベント情報等を得て参加している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会時には入居者毎の日常の様子や健康状況を報告し、利用料請求書には行事参加の際の写真を同封し、「マイライフ通信」には行事開催状況や新人紹介を報告している。金銭管理は預り金処理、個人別現金出納帳に領収書を貼付し、家族来訪時に説明して家族の署名を頂いている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を各階に設置し、面会時に入居者の日常生活状況を報告しながら、さりげなく家族の意見や要望等を聞く等の雰囲気づくりをしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人が運営する養護施設との異動は行わず、ユニット間の異動も必要最小限に抑えている。新規採用職員は、外部の新採研修を受講し、ベテラン職員と組み入居者の性格等を一日も早く知るよう指導している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が消防署主催の救急救命講習会を受講している。また、県や市が主催する各種研修を受講し、報告書を作成し、職員会議で発表した後報告書を回覧する等職員の資質向上に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡協議会に加入し、大会や職員相互派遣研修に参加し交流することにより、他事業所の活動状況等を参考としてサービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が見学を行い、入居者とお茶を飲み懇談することによりホームの雰囲気を体験している。また、来所できない家庭を訪問し、生活歴等を聴取して入居前の生活習慣が継続できるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	草餅やおはぎ作りを共に行ったり、和裁や編み物、つた草の輪飾りの作り方を教わったり、また、人としての心の在り方や苦労話を聞く等入居者と共に支え合う日々を送っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前の病院や介護保険施設等を訪問した際やホーム見学の際に、生活歴や趣味等を聞いたり、入居後は日常生活の中で本人の意向や希望を把握している。また、意思表示の困難な方は、家族の意向や希望を聞き本人本位の支援を行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	面会時や電話で家族の意向や希望を聞き、介護計画書をケアカンファレンスに諮り作成し、面会時等に家族に説明し署名をもらっている。なお、夜勤等でケアカンファレンスに出席できない職員は、意見等を文章で提出し介護計画に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人や家族の意向を反映した介護計画書をケアカンファレンスに諮り、毎月見直している。また、診断書等を基に必要に応じ現状に即した見直しを行っている。6ヶ月毎に立て直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	短期利用共同生活介護の指定を受け、衣類等の日用品の買い物に利用者と共に行くなど柔軟な支援を行っている。また、入居者が入院時には早期退院に向け医師・看護師と情報交換を行い、早期退院に向けた支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医の受診とし、送迎は家族が対応しているが、かかりつけ医が往診する場合もある。かかりつけ医の希望がない場合には、ホームの協力医を紹介している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「出来ること・出来ないこと」を契約時に説明し、重度化や終末期を迎え医療行為が必要となり、事業者自らが介護サービスの提供が困難となった時は、家族と相談のうえ入院等の処置をすることの了解を得ている。また、職員は事業所の方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導や失禁時等の排泄ケアでは、周囲の人に目立たずさりげない対応を行い、理念である「利用者の基本的人権を保護する支援」を実践している。各種書類等の個人情報は、事務室で記録し管理しプライバシーの確保に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課表にとらわれず、戸外で犬と戯れたり、庭のテーブルでお茶を飲んだり、カラオケを歌ったり、ダンスの好きな入居者は職員と踊る等本人の意向に沿った生活が送れるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の食事を大切に、献立には入居者の希望を取り入れると共に、敬老会や食事会には毎回趣向を変えて特別メニューを用意している。入居者は、漬物や野菜を切ったり、テーブルのセッティングを手伝ったり、デザートを盛りつけるなど出来る範囲で協力して準備している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	掛け流しのお湯で温泉気分を出し、時にはユズ湯や菖蒲湯を楽しんでいる。毎日入浴している入居者もいる。入浴を拒否する入居者には、入浴チェック表を活用して、時間を置いて言葉かけで誘導して最低週2日の入浴を支援している。また、バイタルチェックで入浴できない入居者には、清拭や足湯で清潔を保つよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中で、掃除・洗濯・調理など出来ることに参加してもらえるように支援している。前庭に実った柿で「干し柿」を作りお茶の時間に賞味したり、敬老会や運動会を行ったり、お花見を兼ねたドライブをしたり、お茶の時間に歌を唄い嚙下体操をする等日々の役割や楽しみ、気晴らしの支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームは丘陵の傾斜地にあり、毎日の散歩は難しい環境にあるが、プランターの花や野菜の水やりをしたり、犬と戯れたり、庭のテーブルでお茶を飲むなどの支援をしている。また、「鼻高・展望の丘」や「観音山ファミリーパーク」へのドライブで園内を散策したり、買い物やドライブ等戸外に出る機会を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	誰でも気軽に訪問できるよう、日中の玄関は施錠せず、エレベーターも自由に使用できる状況にある。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	自衛消防隊を組織し、消防署の指導を受け年2回のうち1回は夜間を想定した消火・避難訓練を行っている。また、近隣の人に協力を依頼すると共に、隣接の併設施設との協力体制を組み、消防署や併設施設に連動している自動火災通報装置を設置している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同一法人の栄養士が作成した献立表を参考に、入居者の希望を取り入れながら栄養バランスを考慮して調理している。普段よりも食事量や水分量が少ない時にもみ記録している。水分摂取量の少ない入居者には、スポーツドリンクやココア等を用意し十分な水分が摂取できるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	敷地には塀や門扉がなく自由な出入り、訪問が可能である。居間兼食堂は2ユニットの入居者が共に室内運動会等各種行事を開催できるよう広々としおり、眼下に高崎市街地を望み、遠く県庁や赤城・榛名・浅間の山々や雪化粧した谷川岳を遠望できる景勝の地にある。廊下・台所・浴室等は清潔に保たれ居心地良く過ごせるよう配慮されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、家具等が持ち込まれたり、家族の集合写真が飾られたりしている。観音様の像を安置し毎日手を合わせる入居者、婦人公論を毎月購読している入居者などその人らしく居心地良く過ごせるよう配慮されている。		